

製品名: CD40L (15O10) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08392**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	29kDa

抗原情報

遺伝子名	CD40LG
別名	CD40 ligand; CD40-L; T-cell antigen Gp39; TNF-related activation protein; TRAP; CD154; CD40 ligand, membrane form; CD40 ligand, soluble form; CD40LG; CD40L; TNFSF5; TRAP;
遺伝子 ID	959.0
SwissProt ID	P29965
免疫原	ヒト CD40L の合成ペプチド

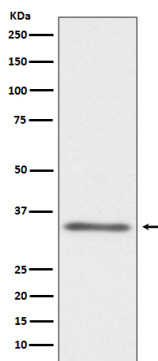
背景

共刺激非存在下での B 細胞増殖、および IL-4 存在下での IgE 産生を媒介する。免疫グロブリンクラススイッチに関与する。CD40/TNFRSF5 のリガンドとして作用するサイトカイン (PubMed:1280226, PubMed:31331973)。T 細胞の増殖およびサイトカイン産生を共刺激する (PubMed:8617933)。T 細胞上での架橋により共刺激シグナルが生成され、TCR/CD3 ライゲーションおよび CD28 共刺激と相まって IL4 および IL10 の産生を促進する (PubMed:8617933)。NF- κ B の活性化を誘導する (PubMed:15067037, PubMed:31331973)。T 細胞におけるキナーゼ MAPK8 および PAK2 の活性化を誘導する (PubMed:15067037)。CD28 アイソフォーム 3 のチロシンリン酸化を誘導する (PubMed:15067037)。共刺激非存在下での B 細胞増殖、ならびに IL4 存在下での IgE 産生を媒介する (類似性による)。免疫グロブリンのクラススイッチに関与する (類似性による)。

研究分野

-

画像データ



MOLT-4 細胞溶解物中の CD40L 発現のウェスタン プロット解析。